

# 1. 第10期(2020年7月~2021年6月)事業報告・決算報告・監査報告

## 事業報告

1993年6月5日にMELONが設立され、28年目の事業を終了しました。公益財団法人に移行してからの事業期も第10期を終えました。2020年春からの新型コロナウイルスの感染に終息の兆しが見えず、第10期も引き続き活動の自粛や新しい生活様式への対応が求められ、方策を模索しながらの活動となりました。

ストップ温暖化センターみやぎにおいては、宮城県から委託事業3件、補助事業1件を受託した他、民間団体・企業経由で環境省補助事業と宮城県事業の一部委託を1件ずつ受託しました。中でも宮城県地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)新規募集養成業務は4年目となり、推進員の活性化のためにも今後も継続が期待される事業です。気候変動適応推進事業は2年目となり、シンポジウムのハイブリッド開催などオンラインも活用しながら有意義な実施ができました。

新たな活動としては、ポストコロナや脱炭素に向けた活動の転換も見据えて、学校等の教育現場で活用・実践するための、SDGs<sup>1)</sup> 環境教育プログラムの作成・実施事業を開始しました。

環境省からの請負事業「東北環境パートナーシップオフィス(EPO 東北)運營業務」は2010年度からの請負期間が11年目となり、環境省の信頼を得ながら東北地方の自治体・団体等の中間支援の役割を果たしました。運營業務に含まれる東北地方ESD<sup>2)</sup> 活動支援センター業務も3年目となり、全国とのネットワークを生かしながら東北におけるESDを推進しました。

継続しているキリバス共和国関連の事業では、キリバス環境出前講話を14校の学校で実施するとともに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏の協力により、YouTubeチャンネル「ケンタロ・オノのキリバス物語」を開設し環境教育動画を配信しました。

情報センターでは、これまでのWEB・メールマガジン・情報紙等での発信に加え、2020年4月から開始したFacebook、Instagramでの情報発信も少しずつ定着し多角的な広報を展開しました。会員企業の取材などジャーナリスト活動も継続し、ラジオ出演を含め多角的な活動を行いました。

部会・プロジェクトの活動は、コロナ禍によりこれまでのイベントによる普及啓発が困難となり、メンバーによる自主運営への過渡期とも重なって、例年に比べ活動は縮小傾向となりました。それでも、「水の神さまプロジェクト」による水文化調査や、「オーガニック・ウィーク仙台」の実施、海洋ごみの調査・削減活動などは継続して実施しました。プロスポーツ団体と連携したごみ減量等の活動は継続したものの、入場観客数の制限やボランティアの感染防止等の観点から限定的なものとなりました。

MELONの活動のあり方、体制や財政の見直し等を検討した「組織基盤強化プロジェクト」に基づいて設置した委員会は、理事長・副理事長会議、政策提言委員会、部会長会議の3つに再編し、必要に応じて開催しました。

- 1) SDGs : (Sustainable Development Goals) 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。
- 2) ESD : (Education for Sustainable Development) 環境、貧困、人権、平和、開発といった様々な現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む(think globally, act locally) ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のこと。

## 【3年間の実績】

【表1】

	第8期(2018年7月 ～2019年6月)	第9期(2019年7月 ～2020年6月)	第10期(2020年7月 ～2021年6月)
会員数	579(入20・退47)	543(入12・退48)	491(入8・退60)
経常収益	62,400,086円	54,364,489円	56,070,266円
経常費用	59,348,146円	53,291,472円	55,951,812円
当期経常増減額	3,051,940円	1,037,017円	118,454円
一般正味財産期首残高	3,565,603円	6,545,543円	7,546,560円
一般正味財産期末残高	6,545,543円	7,546,560円	7,581,714円
基本金(指定正味財産)	45,546,958円	45,546,958円	45,546,958円
新たな事業・活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織基盤強化プロジェクトに基づく専門委員会(財政健全化委員会、企画検討委員会、政策提言・広報委員会)を理事会の下に設置</li> <li>・マイクロプラスチックを中心とした「海洋ごみ」に関する海岸調査・セミナーの開催</li> <li>・環境省に「プラスチック資源循環戦略(案)に対する意見書」「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略(案)に対する意見書」を提出</li> <li>・仙台市に「地球温暖化対策を推進するための条例のあり方(中間案)に対する意見書」を提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県委託事業として「気候変動適応推進事業」を受託</li> <li>・Facebook、Instagramによる情報発信を開始</li> <li>・環境省に「太陽光発電の環境配慮ガイドライン(案)への意見書」を提出</li> <li>・宮城県に「宮城県上工下水一体官民連携運営事業実施方針(案)に係る意見書」を提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs 環境教育プログラム作成・実施事業を開始し「エピコ環境基金」助成金を獲得</li> <li>・「ストップ温暖化センターみやぎ20周年記念誌」発行</li> <li>・一般社団法人日本キリバス協会と協同でYoutubeチャンネル「ケンタロ・オノのキリバス物語」を立ち上げ環境学習動画を配信</li> <li>・コロナ禍でMELONフェスタをオンライン開催</li> <li>・宮城県に「環境基本計画(第4期)中間案への意見書」を提出</li> <li>・仙台市に「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)中間案への意見書」を提出</li> <li>・宮城県知事宛てに「福島第一原発・汚染処理水の海洋放出に関わる声明」を提出</li> </ul>

## I. 重点テーマごとの活動報告

## 1. 脱炭素社会の形成に関する事業

温室効果ガス排出量の削減目標(2030年度に2013年度比26%削減)を達成するために、以下の事業を行いました。

## (1) 家庭における取り組み

家庭のエネルギー使用状況をヒアリングし省エネアドバイスをを行う「うちエコ診断」を実施しました(153件)。

## (2) 様々なステークホルダーとの連携

推進員と連携しイベント出展やラジオ出演を行いました。あいコープみやぎ、みやぎ地域・市民電力連絡会、Friday For Future Sendai、尚絅学院大学など様々な組織と連携しイベント出演等を行いました。

## (3) 行政等の助成・委託事業

環境省補助事業「地域における地球温暖化防止活動促進事業」、宮城県補助事業「うちエコ診断実施支援事業補助金」「地球温暖化防止活動推進員候補者募集及び養成研修」、宮城県委託事業「気候変動適応推進事業」を受託し実施しました。

- (4) ストップ温暖化センターみやぎ 20 周年事業の検討  
ストップ温暖化センターみやぎの歴史をまとめ、これまで関わっていただいた方々から寄稿していただくなどして「20 周年記念誌」をまとめ発行しました。
- (5) キリバス共和国関連事業  
一般社団法人日本キリバス協会（代表理事ケンタロ・オノ氏）と MELON の協同で、YouTube チャンネル「ケンタロ・オノのキリバス物語」を立ち上げ、環境学習動画を配信しました。  
環境省補助事業の中で、小中学校でのキリバス環境出前講話を行うとともに、授業の中で使用できるワークシート等も含めた環境教育プログラムを作成・実践しました。

## 2. 循環型社会の形成に関する事業

循環型社会の実現に向けて、以下の事業を行いました。

- (1) 海洋ごみの調査・研究・提言  
地球環境基金の助成を受けて、4R 部会において海岸ごみの調査・清掃事業を行いました。
- (2) 海洋ごみ問題の普及啓発  
小規模展示やワークショップ等のイベントを 3 回行いました。  
KHB（東日本放送）が日本財団の助成を受けて実施した海洋ごみ削減事業の実行委員会委員長を依頼され協力しました。
- (3) 4R の推進  
廃棄物の基礎知識に関する勉強会の開催や、仙台市アメニティせんだい推進協議会メンバーとして「3R わかる本 2021」の作成協力を行いました。

## 3. 自然共生社会の形成に関する事業

自然豊かな生態系を維持し自然と人間が共生できる社会を実現するために、以下の事業を行いました。

- (1) 森林資源活用の推進  
みやぎ復興住宅整備推進会議委員として、宮城県産材の活用等に関する協議に参画しました。
- (2) 水資源に関する調査と啓発  
水部会において毎年行っている以下の活動を実施しました。  
国土交通省が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」の広瀬川調査に参加しました。  
県内の水源や水神を調査する「水の神様」調査を行いました。
- (3) 食への取り組み  
食に関する他団体と実行委員会を組んで有機食品の啓発を行うオーガニック・ウィーク  
仙台を今年も 11 月 13 日～21 日に実施しました。

## 4. 政策提言、広報活動強化の取り組み

政策提言、広報に関して以下の活動を実施しました。

- (1) 政策提言スキームの実施  
理事会で決議した政策提言スキームに基づき、第 10 期中に 15 件の意見提出を行いました。
- (2) 広報の強化（情報センター活動報告は別紙）  
情報センターにおいて、WEB、メーリングリスト、SNS 等での広報・情報発信を継続するとともに、会員企業をブログ等で PR するための取材活動も行いました。

## 5. 部会の活動

昨年からは部会の自主運営が本格化するとともにコロナ禍が重なり、各部会とも今後の活動を模索中です。報告すべき動きのあった部会は前述の各テーマの項に記載しています。

## II. 主催イベント報告

コロナ禍により人を集めての活動が困難だったため、主催イベントは減少しました。のべ3回、112名の参加となりました。（第9期：12回、1,101名）

【表2】

	日時	タイトル	場所	講師	担当 部会	参加 者数
1	10月17日(土) 10:00～15:00	エコドライブ・エコカーのすすめ (電気自動車体験会・うちエコ診断)	フーズガーデン 玉浦 食彩館	-	ストップ温暖 化センター みやぎ	16
2	11月28日(土) 10:00～12:00	第25回会員と市民のつどい MELON フェスタ (オンライン開催)	フォレスト仙台 (配信場所)	-	MELON 事務局	72
3	1月31日(日) 14:00～15:00	ネイティブと英語で学ぶ環境学習	名取市図書館	Gwen Andrews氏(英 会話講師)	ストップ温暖 化センター みやぎ	24

## III. 協働取組みの組織体制

事業計画を推進するにあたり、以下の組織体制で取り組みを進めました。

### 1. ストップ温暖化センターみやぎ（詳細報告は別紙）

環境省や宮城県の助成金事業・委託事業を中心に、推進員等と協力し気候変動対策の活動を行いました。

### 2. EPO 東北（詳細報告は別紙）

請負による運営が11年目となったEPO東北では、東北6県の環境団体・自治体等の中間支援や東北ESDフォーラムの開催、東北地方ESD活動支援センターの運営等を行いました。

### 3. エコシティ仙台プロデュースプロジェクト

ベガルタ仙台、東北楽天ゴールデンイーグルス、仙台89ERSの3つの在仙プロスポーツにおけるごみ減量・分別など環境活動のサポートを中心に「環境に配慮したまちづくり」をめざして活動しました。コロナ禍によりスタジアム・アリーナでの活動は例年通りとはいかず限定的なものとなり、毎年協力していた七夕花火大会の有料観覧席でのエコステ運営もなくなったため、第10期の活動はかなり縮小を余儀なくされました。

### 4. 委員派遣・共催・名義後援・講師派遣・意見発表等について

(1) 行政・他団体の各種会議への委員派遣等

【表3】

国	東北地方気候情報連絡会委員、東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議構成員
宮城県	環境審議会委員、「ダメだっちゃ温暖化」みやぎ県民会議委員、みやぎ復興住宅整備推進会議委員、宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進審議会委員
仙台市	環境審議会委員、E-Action実行委員会委員、環境配慮事業者認定委員会委員、アメニティせんだい推進協議会委員、廃棄物対策審議会委員、杜の都の市民環境教育・学習推進会議委員、仙台プロスポーツネット幹事、公園緑地協会評議員、仙台市食育推進会議委員
他市町村	大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会委員、多賀城市環境審議会委員
他団体	特定非営利活動法人 気候ネットワーク理事・運営委員、仙台広域圏ESD・RCE運営委員会委員、消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ委員

## (2) 共催・名義後援

【表4】

	開催日	名称等	内容	主催
1	2020年 10月25日	仙台市宮城野区新浜町内会 収穫祭 (ロケットストロブの実演・展示)	共催	新浜カントリーパーク

## (3) 講師派遣

【表5】

	実施日	内容	対応者	主催
1	2020年 7月17日	長谷川理事長「環境と社会」授業 のゲスト講師	吉田美緒チーフ 鈴木美紀子 EPO チーフ	尚綱学院大学
2	9月28日	白石高校調査活動協力 「グリーンカーテンと地球温暖化」	吉田美緒チーフ 亀崎英治事務局員	宮城県白石高等学校
3	10月1日	ESD 講演会 「持続可能な社会を目指すための 研究や活動」	宮城県地球温暖化 防止活動推進員 (佐藤俊彦氏、後藤健一氏)	宮城県富谷高等学校
4	10月8日	海辺のたからものアクセサリ作り (仙台市3R講師派遣事業)	畠山紳悟事務局員	親子の居場所・Clover
5	10月8日	グリーンカーテンと地球温暖化	宮城県地球温暖化 防止活動推進員 (佐藤郁子氏、佐藤俊 彦氏、後藤健一氏)	宮城県白石高等学校
6	10月16日	これまでの七郷小まちづくりの取り 組みと「海辺のたからもの」の活動 紹介等	亀崎英治事務局員 畠山紳悟事務局員	仙台市立七郷小学校
7	11月26日	ごみ減量・3R 推進等の講演	4R推進部会 (篠原富雄部会長)	黒川地区環境衛生組合 連合会
8	2021年 6月2日	地球温暖化防止、うちエコ診断	吉田美緒チーフ	みやぎ生協 生活文化部
9	6月22日	SDGs学習会プラスチックごみの 現状は？	4R推進部会 (篠原富雄部会長)	新婦人みやぎの

## (4) 政策提言・意見発表等

【表6】

	提出日	内容	提出先
1	2020年 8月17日	「宮城県環境基本計画(第4期)中間案」への意見	宮城県環境生活部 環境政策課
2	8月17日	「新・宮城の将来ビジョン(中間案)」への意見	宮城県震災復興・企画部 震災復興政策課
3	9月1日	「仙南地域広域景観計画(案)」への意見	宮城県都市計画課
4	9月24日	宮城県水循環保全基本計画(第2期中間案) に対する意見【水部会長名で提出】	宮城県環境生活部 環境対策課
5	9月28日	「みやぎ環境税」の活用実績と今後の在り方への意見	宮城県環境生活部 環境政策課
6	10月6日	杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画) 中間案への 意見	仙台市環境局 環境企画課
7	10月6日	仙台市地球温暖化対策推進計画中間案への意見	仙台市環境局 環境企画課
8	10月6日	仙台市一般廃棄物処理基本計画中間案への意見 【理事長名と4R部会長名で2件提出】	仙台市環境局 廃棄物企画課

9	12月23日	広瀬川創生プラン中間見直し(素案)に関する意見 【水部会長名で提出】	仙台市建設局 河川課
10	2021年 1月12日	北上川流域水循環計画(第2期)・名取川流域水循環 計画(第2期)中間案に関する意見 【水部会長名で提出】	宮城県土木部 河川課
11	3月24日	勾当台・定禅寺通エリアビジョン中間案への意見	仙台市まちづくり政策局 政策企画部調整課
12	4月1日	デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議 中間まとめに関する意見	文部科学省 初等中等教育局教科書課
13	4月30日	我が国における「持続可能な開発のための教育(ESD) に関する実施計画(第2期 ESD 国内実施計画)(案)」 に関する意見	環境省 大臣官房総合政策課
14	6月11日	福島第一原発・汚染処理水の海洋放出に関わる 声明文	宮城県知事
15	6月22日	附置義務駐輪場条例の見直し案に対する意見	仙台市都市整備局 交通政策課

(5) 他団体主催イベント・企画の協力等

【表7】

	開催日	名称等	参加内容	主催団体
1	2020年 8月22日～ 23日	海洋ごみでつくるアート壁 画	MELON がブース出展	TBC 東北放送 仙台南部の杜水族館
2	9月1日～	SDGs WEB マルシェ	MELON、ストップ温暖化 センターみやぎがオンライ ン参加	尚絅学院大学
3	9月24日～ 2021年3月 31日	デジタルエコフェスタ	MELON がオンライン参 加	仙台市家庭ごみ減量 課
4	11月4日	サイエンスカフェ「気候変 動に適応した暮らしと安全 ～大学キャンパスにおける 気候変動適応策」	事業受託し企画・運営	宮城県環境政策課
5	11月19日	持続可能な社会のための 気候変動適応策シンポジ ウム(ハイブリッド開催)	事業受託し企画・運営	宮城県環境政策課
6	11月26日	第66回仙台市社会学級 研究大会	ストップ温暖化センターみ やぎがブース出展	仙台市社会学級会
7	12月5日	サイエンスカフェ「気候変 動に適応した暮らしと安全 ～榴岡地区における気候 変動適応策の立案」	事業受託し企画・運営	宮城県環境政策課
8	2021年 1月9日	地球のために、宮城から みやぎ環境フェスタ	MELON・ストップ温暖化 センターみやぎがブース 出展	宮城県環境政策課
9	1月15日	多賀城市で考えよう！気候 変動適応策ワークショップ (オンライン開催)	事業受託し企画・運営	宮城県環境政策課
10	1月22日	仙南地域で考えよう！気候 変動適応策ワークショップ	事業受託し企画・運営	宮城県環境政策課
11	2月6日	みなさんで備えよう！気候 変動適応セミナー(オンラ イン開催)	事業受託し企画・運営	宮城県環境政策課

#### 5. 第 25 回 MELON 会員と市民のつどい（詳細報告は別紙）

「第 25 回 MELON 会員と市民のつどい MELON フェスタ」は、実行委員会において、会員と役員や会員同士の交流を目的として検討しましたが、コロナ禍により対面の交流は難しいと判断し、初めてのオンライン開催となりました。

内容は、役員作成の環境動画と学生環境団体の PR 動画の配信、役員・部会長によるディスカッションの配信の 2 本立てで実施いたしました。

#### 6. 委託事業・助成金等

【表 8】

事業名	交付者	事業科目	事業期間
令和 2 年度東北環境パートナーシップオフィス運営業務	環境省	請負事業	2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日
令和 2 年度気候変動適応推進事業	宮城県	委託事業	2020 年 7 月 28 日～ 2021 年 3 月 24 日
令和 2 年度うちエコ診断実施支援事業補助金	宮城県	補助金	2020 年 5 月 15 日～ 2021 年 3 月 18 日
令和 2 年度地球温暖化防止活動推進員新規募集養成研修業務	宮城県	委託事業	2020 年 6 月 12 日～ 2021 年 1 月 29 日
石巻市自治会等新型コロナウイルス感染症対策支援補助金	石巻市	補助金	2021 年 2 月 9 日
令和 2 年度地域における地球温暖化防止活動促進事業	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	補助金	2020 年 6 月 11 日～ 2021 年 3 月 18 日
「Green Gift 地球元気プログラム」運営支援に関する委託契約	日本 NPO センター（東京海上日動火災保険株式会社）	委託事業	2020 年 4 月 1 日～ 2020 年 9 月 30 日
「Green Gift 地球元気プログラム」運営支援に関する委託契約	日本 NPO センター（東京海上日動火災保険株式会社）	委託事業	2020 年 10 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日
2020 年度地球環境基金助成金「宮城の浜の海岸ゴミを減らそうプロジェクト」	独立行政法人環境再生保全機構	助成金	2020 年 6 月 26 日～ 2021 年 3 月 31 日
宮城県「スマホアプリ等を活用した地球温暖化対策行動促進事業」【一部業務委託】	株式会社ユーメディア	委託事業	2020 年 8 月 20 日～ 2021 年 3 月 31 日

### IV. 評議員会、理事会、監事会運営

#### 1. 評議員会（3 回開催）

【表 9】

	日程	主要議題
第 1 回	2020 年 8 月 24 日	第 9 期事業報告・決算報告および監査報告について、 役員の選任について他
第 2 回	11 月 30 日	第 10 期事業の進捗報告他
第 3 回	2021 年 6 月 21 日	第 11 期事業計画案・予算について他

## 2. 理事会（4回開催）

【表10】

	日程	主要議題
第1回	2020年 8月3日	第9期事業報告・決算報告および監査報告について他
第2回	11月9日	5年会員制度発足について、基本金定期運用について他
第3回	2021年 4月19日	就業規則改定、第11期役員会日程、第11期事業計画第一次案について他
第4回	6月7日	第11期事業計画第二次案・予算について他

## 3. 監事会（1回開催）

【表11】

	日程	主要議題
第10期監事会	7月26日	第10期・理事の業務執行状況並びに決算について

## 3. 第10期末現在 MELON が加入している団体

【表12】

加入団体	加入形態	会費（口数）
認定 NPO 法人気候ネットワーク	正会員（団体）	50,000 円（10 口）
NPO 法人地球環境市民会議（CASA）	会員（団体）	10,000 円（2 口）
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	正会員	40,000 円（1 口）

## V. 維持会員の状況および部会・プロジェクト、事務局体制、ボランティアスタッフの活性化について

### 1. 維持会員の状況

第10期末の会員数は法人55（入会1退会4）・任意団体9（入会0退会1）・個人427（入会7退会55）合計491となり、前期末からマイナス52となりました。入会は活動参加をきっかけに入会いただいた方が大半で、退会は高齢化や3年間会費未納で連絡つかない方が8割以上を占めています。

【表13】

会費の 納入状況	第10期の会費予算6,100,000円に対し、会費納入額5,913,000円となりました。
寄附の 状況	第10期合計で1,917,441円の寄附をいただきました。内訳は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ みやぎ生活協同組合からみやぎ生協 MELON 協力商品券売上による寄附額 1,379,859 円、別途寄附額 26,404 円</li> <li>◆ 株式会社日専連ライフサービスから日専連 MELON 協力商品券売上による寄附額 40,078 円</li> <li>◆ 株式会社ウジエスーパーからレジ袋の売却益による寄附額 225,100 円</li> <li>◆ 長谷川理事長から東北大学定年退職記念寄附額 100,000 円</li> <li>◆ 菊地理事から新型コロナ対策用寄附額 50,000 円</li> <li>◆ 他個人 18 名から合計寄附額 96,000 円</li> </ul>



## 2. 部会・プロジェクト体制について

第10期の部会・プロジェクトの長は下記の通りでした。

【表14】

部会・業務	部会長
ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会	長谷川公一
情報センター運営委員会	石垣政裕
水部会	山田一裕
食部会	冬木勝仁
4R推進部会	篠原富雄
MELON cafe	なし
自然エネルギー等普及プロジェクト	新沼慎二
みやぎ里山応援団	今野勇
エコシティ仙台プロデュースプロジェクト	村松淳司
エコ住宅部会	村松淳司

## 3. 事務局体制について

設立当初から MELON を支えてくださった協同組合日専連仙台が解散したことにより、事務局体制は、みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会、となりました。

事務局長を除いた専任事務局スタッフは、当初スタッフ 15 名でスタートし、期中に 3 名退職で、現在スタッフ 12 名となっています。

## 4. ボランティアスタッフの活性化について

### (1) 「ボランティアポイント制度」

ボランティアスタッフの活用に力を入れるための条件整備の一環として、2003 年度 6 月より導入した本制度（MELON の活動にボランティアとしてご参加いただいた会員の皆様に活動参加の実費の一部補填する意味で、1 回のボランティア参加に 1 個のスタンプを押し、スタンプが 5 個たまった時点で 1,000 円分の MELON 協力商品券と交換するもの）を第 10 期も継続運用しました。しかし、第 10 期はコロナ禍でボランティアの活躍の場も少なかったため、本制度の活用数も少なくなりました。

#### ● 第 10 期ボランティアポイント制度の活用状況

スタンプ 5 個到達枚数（MELON 商品券交換数） 39 枚（第 9 期 64 枚）

スタンプ 5 個到達者数（同一人物が何回到達しても 1 人と計上） 21 人（第 9 期 28 人）